

令和2年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第1問（配点25点）

（設問1）

財務諸表を利用して、診断及び助言の基礎となる財務比率を算出する能力を問う問題である。

（設問2）

財務比率を基に、財政状態及び経営成績について分析し説明する能力を問う問題である。

第2問（配点30点）

（設問1）

短期利益計画の策定に利用する損益分岐点売上高の計算において、変動費率が変化する場合に応用する能力を問う問題である。

（設問2）

将来キャッシュフローに関する情報に基づいて正味現在価値を算出する能力を問うとともに、算出された正味現在価値を用いた合理的な意思決定の方法を理解しているか確認する問題である。

第3問（配点20点）

（設問1）

買収額が純資産額を下回る買収をした場合に企業が行うべき会計処理を理解しているか確認する問題である。

（設問2）

買収額が純資産額を下回る買収をした場合のリスクについて適切に助言する能力を問う問題である。

第4問（配点25点）

（設問1）

業績評価に用いられる投下資本営業利益率を算出する能力を問う問題である。

(設問 2)

投下資本及び営業利益の双方が増加する投資を行った場合の投下資本営業利益率の変化について算出する能力を問う問題である。

(設問 3)

業績評価において投下資本営業利益率を用いることが部分最適を誘発する可能性があることを理解しているか確認するとともに、適切な方策を提言する能力を問う問題である。

以上